

講習科目名	【選択必修】学校、家庭ならびに地域の連携及び協働	実施期日	8月17日(火)
時間数	6時間	講習形態	講義・演習
主な受講対象者	①学校種：特定しない ②免許職種：特定しない ③教科等：特定しない ④職務経験等：特定しない	受入人数	30人
担当教員	水谷 修(東北学院大学教養学部学部長/教授)：1・4・5時限目担当 青野 禎宏(宮城県教育庁生涯学習課協働教育班課長補佐/班長)：2時限目担当 遠藤 嘉文(仙台市教育委員会生涯学習課主査兼社会教育主事)：3時限目担当		
講習の到達目標 (成績評価の観点)	学校、家庭ならびに地域の連携及び協働に関する基本的知識を修得し、それをもとに、以下の課題を達成することを目指す。 ・連携・協働の導入が効果的な局面について、自校の現状等に照らし合わせて説明することができる。 ・連携・協働に取り組む際の課題について多面的に考えることができる。		
講習の概要	子どもを取り巻く環境が変化し、地域、家庭、学校が連携・協働して子どもを育てる仕組みについても再構築が迫られている。この講習では、学校が抱える教育課題の解決を図るとともに、生涯学習社会の実現に向けて、学校、家庭及び地域の連携・協働をどのように進めていけばよいのかについて、宮城県や仙台市(県教委・市教委担当者の解説)、及び他県の先進的な実践事例、受講者の経験などを手がかりに検討を行う。		
講習計画	1時限目(1時間)： 「学校と家庭・地域の連携・協働による青少年の育成」(講義1) 学校、家庭ならびに地域の連携及び協働が必要とされる背景やねらい、具体的な取り組み等について解説する。 2時限目(1時間)： 『みやぎの協働教育』からみえる地域と学校の連携協働の在り方(講義2) 地域との連携・協働による学校の教育活動の充実に向けた国及び宮城県の今後の教育施策の方向性について理解するとともに、「みやぎの協働教育」の実践例を基に、効果的な連携・協働の在り方について学ぶ。 3時限目(1時間)： 「仙台市嘱託社会教育主事制度とその取組」(講義3) 全国でも先進的な仙台市嘱託社会教育主事制度とその取組事例を通して、学校と家庭・地域の連携のあり方を探る。 4時限目(2時間)： 「学校と家庭・地域の連携・協働をすすめるために」(演習) 連携・協働の現状と課題を全体で共有した上で(ディスカッション)、上記の課題について地域住民等の視点から分析・検討を行い(グループワーク)、連携・協働を導入する際の留意点について全体で確認する。 5時限目(1時間)：試験		
評価方法	講義内容をもとに、講習の到達目標をふまえた設問による筆記試験を行う。		

教材・参考文献	教材：プリント資料配付およびパワーポイント提示の予定
受講者に望むこと	自校の「学校と家庭、地域の連携・協働の取組」について、事前に調べ整理しておくこと
備考	